

中運交企第163号
令和7年3月27日

岡崎市地域公共交通会議
会長 松本 幸正 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和5・6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	岡崎市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

<p>評価できる取組</p> <ul style="list-style-type: none">・地域内フィーダー補助系統の利用促進に向け、地域住民に対しアンケートを実施し、移動ニーズの把握に努めたことを確認しました。・六ツ美地区、矢作地区で実施しているデマンド運行の実証実験や額田地域コミュニティ交通に関する検討等、地域と連携し、地域事情に沿った交通体系の構築に向け継続的に取り組んでいることを評価します。・おかざきスマートムーブアクション2024、岡ジャストレイン等、地域のほか複数の主体と連携し、公共交通の利用方法や認知度の向上に繋がる取組を実施し、利用促進に繋がったことを評価します。・名鉄バス(株)が65歳以上を対象に発売する高齢者パスの購入費用の補助について、前年度より補助対象期間を延長する等、事業者の取組に協力し利用促進に努めていることを評価します。
--

<p>期待する取組</p> <ul style="list-style-type: none">・デマンド運行と路線バスの連携について、乗り継ぎ利用を意識した周知を積極的に行うなど利用促進に繋がる取組が関係者の連携の下進められることを期待します。・引き続き、地域と連携して地域内フィーダー補助系統の利用促進に取り組むとともに、今回把握したアンケート結果も活用し、地域と連携し、移動ニーズを反映した地域内交通が構築されることを期待します。・地域間幹線系統である大沼線の輸送量が補助要件基準の15人に近いことから、引き続き、現状の把握に努めるとともに、愛知県や豊田市等関係者と連携して更なる利用促進を図るよう期待します。
